

ホオズキ品種「佐賀H5号」の切り枝栽培における収穫2週前摘芯による上位節の充実					
[要約] ホオズキ品種「佐賀H5号」を用いた切り枝栽培では、 <u>収穫2週前摘芯により、切り枝長を確保しつつ、摘芯時に開花直前</u> にある花蕾も宿存がくへと肥大が進み、 <u>切り枝の上位節の充実を図ることができる。</u>					
佐賀県農業試験研究センター・野菜花き部・花き研究担当			連絡先	0952-45-2143 nougyoushikensenta@pref.saga.lg.jp	
部会名	花き	専門	栽培	対象	ホオズキ

[背景・ねらい]

ホオズキは、県内の様々な地域で栽培されている主要な特産花きの一つである。当センターでは、これまでに、宿存がくの連続着生および着色が優れる「佐賀H5号」を切り枝栽培に適する品種として育成した。近年、ホオズキの切り枝栽培では、上位節の充実を図るため、収穫前の摘芯を推進しているが、「佐賀H5号」は初期の生育が緩慢であることから、摘芯時期が早過ぎると切り枝長を確保できないことが懸念される。そこで、「佐賀H5号」に適した摘芯時期を確立する。

[成果の内容]

1. 収穫2週前に摘芯すると、切り枝長および宿存がくの着生数は、ともに、摘芯しない場合と同程度を確保できる(表1)。
2. 摘芯により、切り枝の上位5節に着生した葉も完全展葉し、宿存がくも十分に肥大し、上位節の充実が図られる(図1)。
3. 7月中旬頃に、開花直前の状態にある花蕾は、宿存がくの肥大が完了するまでに約2週間を要する(図2)。

[成果の活用面・留意点]

1. 2015年度は、7月下旬を収穫時期と設定し、3週前区は7月7日に、2週前区は7月14日に摘芯した。2016年度は、8月上旬を収穫時期と設定し、3週前区は7月15日に、2週前区は7月22日に摘芯した。
2. 宿存がくの着色促進処理は、両年度ともに、エテホン125ppm(商品名:エスレル10、800倍液)を収穫3週前に1回茎葉散布した。
3. 初期の生育が順調で切り枝長を確保できそうな場合は、早い時期に摘芯してもよい。
4. 本試験は、センター内の雨よけハウスを用いた地床栽培(土壌は灰色低地土)で栽培した結果である。

[具体的なデータ]

表1 摘芯時期の違いが収穫時の切り枝品質に及ぼす影響

試験年	摘芯時期	切り枝長 (cm)	節数 (節)	宿存がく着生数 ² (個/株)	完全着色した宿存がく数 ² (個/株)
2015	3週前区	134.2 a ¹	23.5 b	17.8 ± 1.39 a	12.1 ± 1.02 a
	2週前区	134.5 a	24.6 ab	19.1 ± 0.75 a	12.7 ± 0.41 a
	無摘芯区	139.7 a	25.7 a	18.4 ± 0.96 a	11.6 ± 1.03 a
2016	3週前区	122.6 b	24.7 b	17.3 ± 1.29 b	10.4 ± 1.06 a
	2週前区	125.7 ab	26.2 b	19.3 ± 0.98 ab	12.4 ± 0.80 a
	無摘芯区	133.1 a	29.3 a	22.2 ± 1.05 a	13.4 ± 0.94 a

分散分析¹

試験年	**	**	n.s.	n.s.
摘芯時期	*	**	*	n.s.
試験年 × 摘芯時期	n.s.	*	n.s.	n.s.

¹平均値±標準誤差

²Tukeyの多重検定により、同一年の同一列の異符号間に5%水準で有意差あり

³二元配置分散分析により、**、*はそれぞれ1%、5%水準で有意差あり、n.s.は有意差なし

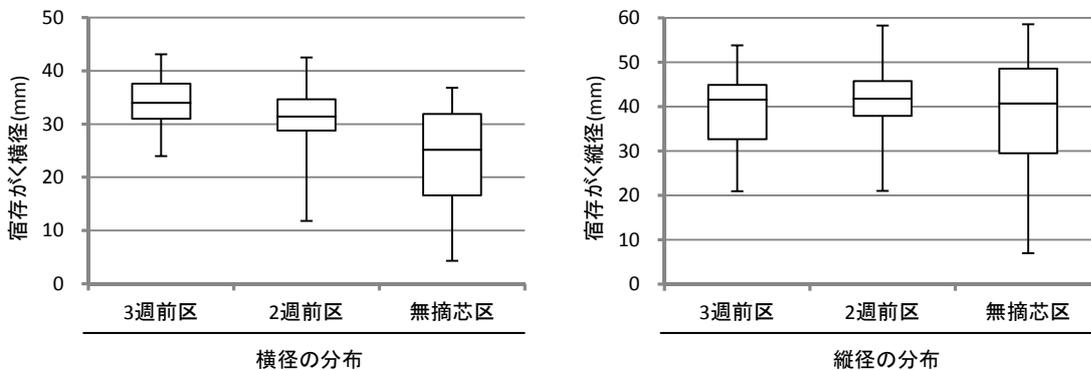


図1 摘芯時期の違いが収穫時の上位5節の宿存がく縦径および横径に及ぼす影響²(2016)

²収穫時の上位5節に着生した宿存がくの縦径および横径の箱ひげ図

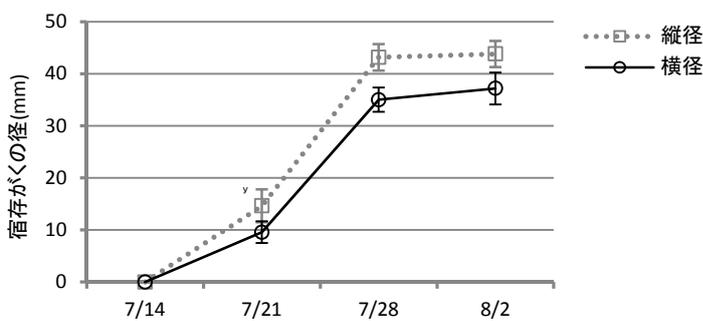


図2 7月中旬における開花直前の花蕾から形成した宿存がくの肥大推移²(2016)

¹7/14に開花直前の花蕾をラベルし、形成した宿存がくの縦径および横径を経時的に調査

²Barは標準偏差を示す

【耕種概要】 2015年度 地下茎定植:3/11、 摘芯:7/7(3週前区)、7/14(2週前区)、 収穫時調査:7/28
 2016年度 地下茎定植:3/17、 摘芯:7/15(3週前区)、7/22(2週前区)、 収穫時調査:8/2
 ※両年度ともに、栽植本数:約8,800本/10a、 基肥窒素施用量:15kg/10a、
 着色促進処理:エスレル10 800倍液、収穫3週前1回処理、 試験規模:15株/試験区、3反復

[その他]

研究課題名：佐賀オリジナルブランドを創出する地域特産花き類の新品種開発

予算区分：県単

研究期間：平成27年～28年度

研究担当者：高取由佳、松村司、坂本健一郎、月足公男